

粉河高等学校定時制

実施日時	令和元年 9月10日(火)
参加者	生徒1名、教職員7名、地域住民等0名 計8名
実施内容	講義(災害時の避難方法等)、救命救急講習、アルファ化米の炊き出しと試食

ねらい

近い将来予想される南海・東南海大地震をはじめ自然災害に備えて、那賀消防組合や地域等と協力・連携しながら、生徒に防災・減災に関する専門的な知識や技術を習得させ、防災への意識を高め、地域防災の担い手・リーダーとして社会貢献できる青少年の育成を図る。

主なプログラム

- 1、講義(災害時の避難方法等)
- 2、救命救急講習(心肺蘇生法・AED)
- 3、アルファ化米の炊き出しと試食

概要

1、講義(災害時の避難方法等)

那賀消防組合東消防署の署員3名を講師に、講義(災害時の避難方法)と救命救急講習(心肺蘇生法・AED)に取り組んだ。配付された資料をテキストとし、避難準備情報・避難勧告・避難指示の言葉の意味や地震・火災・洪水・土砂災害・台風等のそれぞれの避難方法の注意点やその理由等を考えながら、質疑応答を交え学習した。



2、救命救急講習(心肺蘇生法・AED)

心肺蘇生法について、講師先生の実演を見ながら説明を受け、生徒は実習に取り組んだ。その後、AEDの使い方等の説明を受け、AEDを利用した心肺蘇生法に、再度、取り組んだ。実技では、特に緊張感をもって臨んでいた。



3、アルファ化米の炊き出しと試食

最初に炊き出しの手順の説明を行い、箱を開封し、箱の中に入っているものを確認し、再度、説明書の内容を確認した。その後、生徒は教員とともにアルファ化米の炊き出しと試食を行った。



参加者感想文

防災について、消防の方から話を聞いて、減災という言葉を知った。家族と避難時の連絡方法について話し合ってみたいと思う。AEDは使ってみて、誰でも使えるので便利だと思った。アルファ化米は作ってみて、普通よりも楽に作れると思った。食べてみると、非常食にはおいしいと感じた。

成果と課題

【成果】

那賀消防組合東消防署の方々の指導により、1学年生徒が1名であったが、災害時の避難方法、AEDを利用した心肺蘇生法の学習・実習を学習・体験できた。指導が手厚く、生徒にとって大変有意義な取組となった。

【課題】

保護者や地域住民の方の参加を促せるよう、いかに工夫できるかが課題である。